【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公開番号】特開2008-92151(P2008-92151A)
【公開日】平成20年4月17日(2008.4.17)
【年通号数】公開・登録公報2008-015
【出願番号】特願2006-269018(P2006-269018)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成21年9月28日(2009.9.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
再生信号を出力する電子機器であって、
再生信号の規格である第１規格又は第２規格を選択するための規格選択手段と、
前記第１規格と前記第２規格とのうち、前記規格選択手段により前記第１規格が選択されたときは該第１規格に準拠した第１精細度の再生信号を出力し、前記規格選択手段により前記第２規格が選択されたときは該第２規格に準拠した第１精細度の再生信号を出力する第１再生手段と、
前記第１規格と前記第２規格とのうち、前記規格選択手段により前記第１規格が選択されたときは該第１規格に準拠した第２精細度の再生信号を出力し、前記規格選択手段により前記第２規格が選択されたときは該第２規格に準拠した第２精細度の再生信号を出力する第２再生手段と、
前記第１再生手段から出力される前記第１精細度の再生信号を外部に出力するための第１端子と、
前記第２再生手段から出力される前記第２精細度の再生信号を外部に出力するための第２端子と、
前記第１端子と前記第２端子とにケーブルが接続されているか否かを検出する検出手段と、
前記第１端子と前記第２端子のケーブル接続状態を判定し、前記第１端子と前記第２端子とのうち少なくともケーブルが接続されている端子から再生信号を出力するよう制御する再生制御手段と
を含むことを特徴とする電子機器。
【請求項２】
前記再生制御手段は、
前記第１端子と前記第２端子との両方にケーブルが接続されているか否かを判定する判定手段と、
前記第１端子と前記第２端子との両方にケーブルが接続されている場合に、前記第２精細度よりも相対的に高精細度の前記第１精細度の再生信号を前記第１端子から出力させ、前記第２端子からは前記第２精細度の再生信号を出力しないよう切り換える切換手段と
を含むことを特徴とする請求項１に記載の電子機器。

【請求項３】
前記再生制御手段は、
前記第１端子と前記第２端子との両方にケーブルが接続されているか否かを判定する第１判定手段と、
前記第１端子と前記第２端子との両方にケーブルが接続されている場合に、どちらの端子に対して後からケーブルが接続されたかを判定する第２判定手段と、
前記後からケーブルが接続された端子からのみ再生信号を出力するよう切り換える切換手段と
を含むことを特徴とする請求項１に記載の電子機器。
【請求項４】
前記再生制御手段は、
前記第１端子と前記第２端子とのうち何れか一方の端子にのみケーブルが接続されているときに、他方の端子にもケーブルが接続されたことが検出されると、他方の端子から再生信号が出力可能となるまで待機する待機手段
をさらに含み、前記他方の端子から再生信号が出力可能となると、前記一方の端子からの再生信号の出力を停止して、前記他方の端子から再生信号を出力するよう制御することを特徴とする請求項１に記載の電子機器。
【請求項５】
前記検出手段及び前記再生制御手段を設ける代わりに、前記第１再生手段と前記第２再生手段とがそれぞれ並行して再生信号を出力することを特徴とする請求項１に記載の電子機器。
【請求項６】
前記規格選択手段は、
前記第１端子と前記第２端子とのうちケーブルが接続されている端子に、規格の選択結果を反映させることを特徴とする請求項１に記載の電子機器。
【請求項７】
前記規格選択手段は、
前記第１端子と前記第２端子とのうちケーブルが後から接続された端子に、規格の選択結果を反映させることを特徴とする請求項１に記載の電子機器。
【請求項８】
前記規格選択手段は、
前記第１端子と前記第２端子との何れかにケーブルが接続されると、前記第１規格又は前記第２規格を選択させるための選択画面を表示する表示手段をさらに含むことを特徴とする請求項１に記載の電子機器。
【請求項９】
前記規格選択手段は、
前記第１再生手段と前記第２再生手段とに共通に適用される規格の選択情報を記憶する記憶手段を含むことを特徴とする請求項１ないし４の何れか１項に記載の電子機器。
【請求項１０】
前記第１再生手段は、
ＮＴＳＣ規格のＨＤＴＶ再生信号とＰＡＬ規格のＨＤＴＶ再生信号を生成するＨＤＴＶ再生信号生成回路
を含み、
前記第２再生手段は、
ＮＴＳＣ規格のＳＤＴＶ再生信号とＰＡＬ規格のＳＤＴＶ再生信号を生成するＳＤＴＶ再生信号生成回路
を含み、
前記電子機器は、
前記ＮＴＳＣ規格のＨＤＴＶ再生信号を生成するための第１基準クロックを発生する第１クロック部と、

前記ＰＡＬ規格用のＨＤＴＶ再生信号を生成するための第２基準クロックを発生する第２クロック部と、
前記ＳＤＴＶ再生信号を生成するための第３基準クロックを生成する第３クロックと、
前記検出手段の検出結果に応じて、前記第１基準クロック又は第２基準クロックを出力する第１セレクタと、
前記検出手段の検出結果に応じて、前記第１クロックセレクタから出力される基準クロック又は前記第３基準ロックを出力する第２セレクタと
をさらに含むことを特徴とする請求項１ないし９の何れか１項に記載の電子機器。
【請求項１１】
第１精細度の再生信号を外部に出力するための第１端子と、第２精細度の再生信号を外部に出力するための第２端子とを含む電子機器の制御方法であって、
再生信号の規格である第１規格又は第２規格を選択するための規格選択工程と、
前記第１端子と前記第２端子とにケーブルが接続されているか否かを検出する検出工程と、
前記第１端子にケーブルが接続されているときに、前記第１規格と前記第２規格とのうち前記規格選択工程において選択された規格に準拠した再生信号を前記第１端子へ出力する第１再生工程と、
前記第２端子にケーブルが接続されているときに、前記第１規格と前記第２規格とのうち前記規格選択工程において選択された規格に準拠した再生信号を前記第２端子へ出力する第２再生工程と
を含むことを特徴とする制御方法。